

## 第 3 回アジア医学検査学会を担当して…

事務局長 小松京子

当初、学会は第 58 回日本医学検査学会と同時開催の予定であったが、種々検討の結果、同時開催の 1 日 cross した開催となった。参加者は、招待者を含め 193 人(日本人 114 名)と一応の成果を見た。

国際学会とは、自国からの参加者がいなければ成り立たない学会であることは言うまでもない。はじめに、参加登録していただいた JAMT 会員の方々と、参加されずともご支援くださった会員の皆様の国際貢献に、実行委員一同から心より感謝申し上げる次第である。

国際学会は、海外の同業者が一同に会する場である。開催責任者は、場所の提供、連絡の仲介、宿泊情報と確保、安全性の確認、学術テーマやプログラムの構成などができる国の指導者でなければならないと考える。

日本での開催は、全ての条件が満たされているものの、物価の高いことが欠点であろう。AAMLS 加盟国には開発途上国も多く、自費で来日することは大変な負担である。事実、ベトナムの事務局長から、旅費と参加費全て合わせると 2 年分の給料となり、参加したくても行けないとのメールをいただいた。そのような地域から国際交流に参加できるのは、経済的に恵まれた一部の人間の特権のようである。

国際貢献のありかた。国際交流とはどうあるべきか。我々先進国の会員は何をすべきか。多くの課題は残されているが、学会に参加した者達は、それぞれに得たものはあると確信する。

国際交流により得るものは、学術的知識ばかりではないだろう。常日頃、国際学会の登録費は高いと思っていたが、海外参加者が負担する旅費のことや、他国での国際学会への参加も国際支援であることなど、先進国で働く者としては、違った角度からの見方も必要であることを再認識した。

今回、日本での学会は参加する価値があると政府と交渉し、その補助を獲得し、11 名で来日してくれたタイ国。代表団数名で来るのが精一杯のマレーシア、インドネシア。ベトナム会長は単身で来日し、全てのセッションに参加して活発に質問もし、早朝帰国したことは考えさせられることである。決して上手な英語ではなかったが、自国を代表してきたという気迫が感じられた。台湾と韓国からはアジア先進国として 37 名と 12 名という大所帯での参加協力をいただいた。

アトラクションを依頼した際に、学会の趣旨を理解していただき、出来る限りのことをしたいと、up grade のサービスをしてくれた忍者軍団(あの TV に出てくる有名なかたは、ボランティア出演でした!)や、デキシー(リードボーカルはボランティア出演!)の方々。多くの人々のサポートで成り立った学会であった。

将来のためのマニュアルを残すことが必要であると考える。

会員の皆様には引き続きご協力を御願する次第である。

## 学会式典

30 日(木)午後 1 時 30 分から学会式典が挙行された。AAMLS 加盟国の国旗に加え、日本の伝統文化の一つである“琴”の演奏が各国参加者を迎えた。

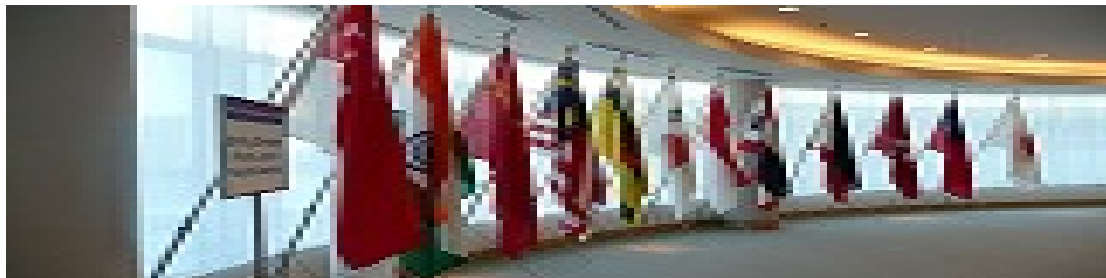
琴の演奏と自国の国旗を前に記念撮影する海外参加者が多く、日本とは異なり国旗に対する意識の違いが表れた瞬間であった。



開式の辞に続き、今回学会長を務めた小崎繁昭日臨技会長より式辞が述べられた。式辞のなかで「…日進月歩の医療界において、臨床検査を通じて安全で良質な医療を提供するために日ごろからの研鑽はもとより、臨床検査学の情報交換や新技術の共有は極めて重要であると同時に、学会を通して広がる人的な交流は、今後も参加各国技師会員が強い絆で結ばれていくものと信じてやみません。本学会が将来に向けてさらに発展し、アジアから臨床検査の新しい波紋を広げる機会になることを期待しています…」と述べ、今後のアジア諸国に対する日本の決意を“波紋”という言葉で締めくくった。

引き続き、主催者である AAMLS 会長の Eddie Ang san <Singapore> から挨拶があり、更に、IFBLS から Gry Andersen 会長が祝辞を述べた。

次いで、加盟国の紹介があり、和やかな雰囲気での閉式した。



## AAMLS 理事会

AAMLS 理事会が平成 21 年 7 月 29 日(水)午後 3 時から午後 5 時まで横浜インタコンチネンタルホテルシルクの間で開催された。参加国はフィリピン、タイ、インドネシア、シンガポール、ベトナム、韓国、香港、台湾、日本の 9 カ国、ブルネイ、中国、インド 3 カ国が不参加であった。

理事会は会長であるシンガポールの Eddie Ang san 氏が議長として挨拶を行い、以下 6 題の議題 (①2005 年 9 月 25 日に上海エバーブライトコンベンションで開催された理事会議事録確認、②会計報告、③第 2 回 AAMLS 学会報告 ④第 13 回 AACLS 会議報告、⑤理事の選出、⑥その他) について審議された。そして会議の冒頭、IFBLS 前会長 LenaMorgan 氏 と現会長の Gry Andersen 氏の二人がオブザーバーとして参加することを承認された。議題①から④について確認と承認を行った。⑤の議題については会長 Rachana Santiyantont 氏(タイ)、副会長 Eddie Ang san 氏(シンガポール)、James Chang 氏(台湾)、会計 Woon Song thong 氏(マレーシア)が選出され、今後 4 年間担当することとなった。

その他の議題としてオブザーバー参加であった台湾が正式に AAMLS のメンバーとして承認され、台湾会長より謝辞が述べられた。また、第 4 回 AAMLS 学会をシンガポールで開催することを承認され、シンガポール会長より学会開催に対する抱負を述べ、全ての議事を時間内に終了した。

【湯浅宗一】